

熊本県野菜振興協会天草支部技術部会視察研修

天草地域では、レタスやキュウリ等の主要品目のほか、オクラを始めとしてスナップエンドウや甘長とうがらしなど、軽量品目が多数栽培されています。農業者の高齢化に伴い生産が増加するなか、それに対応した生産・出荷体制の育成が求められています。また、近年、野菜栽培における企業参入やミニトマトの養液栽培など先進技術を導入した栽培も増加しています。

そこで、技術部会員（県、市、JA）の知識および技術向上を目的として、10月3日（水）～4日（木）に天草支部技術部会員15名で、福岡県久留米市を中心に先進地視察研修を行いました。野菜の多量多品目の栽培や出荷に取り組んでいるJAみい園芸流通センターの状況や、九州沖縄農業研究センターの植物工場、トマト jr. 農園・玉名のポットファーム等の最先端技術を研修しました。

今回の研修では、先進的な野菜栽培の状況を知ることができ、技術部会員間の活発な意見交換も行われ、今後の天草地域における野菜生産の体制について、新たな視点を得られる研修となりました。



写真1) JAみい 園芸流通センター



写真2) 九州沖縄農業研究センター